

センターだより

平成29年10月20日発行

発行責任者 推進センター長

にしおか会館4-5-8-21

電話・fax 854-0537

皆さん、お久しぶりです。お元気でしょうか

朝晩、一段と冷え込んで、本格的な紅葉の季節が到来しました。見逃さず鑑賞しましょう。

センターだより第2号を『ふれ愛交流会』の特集号としてお届けします。

☆平成29年度『ふれ愛交流会』の開催結果～楽しく、和やかに終了～

◇福まちの最大行事『ふれ愛交流会』が9月24(日)11:00～13:30 好天に恵まれた中、西岡福住地区センターで開催されました。

今年は、参加者が過去最高の290名(ひとり暮らし高齢者150名、関係機関14名、町内会長29名、お手伝いの推進員51名、出演協力者46名)で、高齢者の方を囲んで、皆で「ちびっこ体操」に拍手を送り、「オカリナ演奏」を鑑賞し、お弁当に舌鼓みを打ちながら談笑し、有意義な一日でした。

交流会の大まかな模様をお知らせいたします。

◇先ず、押木センター長の歓迎の開会あいさつ、次いで大友副センター長が関係機関、町内会長(自治会長)の方を順次紹介し、スタートしました。

◇次に、お馴染みの健康体操(介護予防センター：本間さんの指導)の時間、イスに座ったまま出来る脳トレを音楽に合わせて、本間さんのリードで ゆっくりと身体をほぐしました。

◇さあ！お待ちかね、次は、ちびっこの出番です！

緊張しながらも、元気良く、ちびっこさん15名が登場し、なわ跳びや反り立ち、鉄棒の逆上がりや跳び箱、そしてダンスなど先生の指示に沿い、日頃の練習の成果を披露しました。

皆の温かなまなざしと感動の拍手に答えて、はつらつと演技し、付き添いの保護者の方も会場の片隅で、心配気にやさしく見守る姿が印象的でした。

◇オカリナ演奏では、昔懐かしい曲をじっくりと耳を傾け、アンコール曲を含めて口ずさむ方も“もみじ”と“ふるさと”は、歌詞カードを見ながら、皆で大きな声で合唱しました。



◇催しものの紹介やその合い間は、石川さん(事業部副部長)の軽妙な司会の進行で、90歳を超え元気に参加の方や関係機関、町内会長の方にも声をかけ、各テーブルを廻りました。

その中で、中学校以来60年ぶりに再会した方のエピソードもあり、各テーブルは、いつも以上の盛り上がりでした。

◇最後は、西岡音頭普及会のご協力、ご指導で「西岡音頭」と「北海盆踊り」を、曲が進むにつれて会場一杯に大きな輪になって踊り、あっという間に時間が経ちました。

◇お手伝いの推進員を中心に、「ゆっくりと楽しんでもらいたい」と準備、運営に当たりましたが、どうでしたでしょうか、お弁当は美味しかったですでしょうか、何かと不行き届きの点があったのではと思っております。

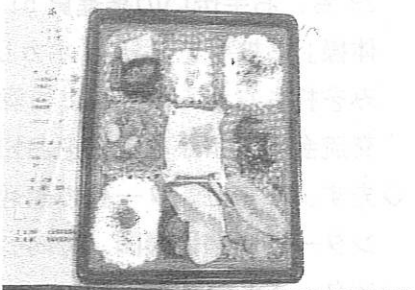
特に、催し物の時間が延びて、弁当の予定時間が遅れたこと、折角の「ちびっこ体操」が、会場の後方からは殆ど見えなかったことなど事務局としてテーブルの配置や進行が不十分であったと、お詫びいたします。ご容赦ください。

◇ご参加頂きました皆様に心から厚くお礼申し上げます。

交流会が終わって、会場の出口で皆さんから「良かったよ、また、楽しみにしているね」との声をかけて頂いたことは、推進員にとって本当にありがたく心温まる一瞬です。

◇また、赤い羽根の募金は、当日総額12,197円のご協力を頂きました。心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

今後とも、福まち活動に皆さんと共に精一杯努めて参りますので、よろしくお願いいたします。



☆福まち防災訓練のお礼

福まちでは、西岡地区町内会連合会の自主防災訓練の一環として、10月2日(月) 西岡地区のひとり暮らし高齢者(70歳以上)の方の安否確認を福まち推進員を通じ、昨年に引き続き実施いたしました。その結果、西岡地区全体で619名の高齢者の内、前日までの確認の方を含め607名(98.1%)の方の安否確認を行うことができました。皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

編集後記

『ふれ愛交流会』も無事終了し、ほっと一息といったところです。秋が深まり、早くも冬に向かう準備が要る季節となりました。寒さに備えしっかりと体調管理に気を付けましょう。

広報担当 山田耕三・中村三恵子